

令和4年9月30日

「富山県美術館開館5周年記念 デザインスコープのぞく ふしぎ きづく ふしぎ」開催および一般前売券販売のご案内



富山県美術館では、2022年12月10日（土曜日）～2023年3月5日（日曜日）の間、「富山県美術館開館5周年記念 デザインスコープのぞく ふしぎ きづく ふしぎ」を開催します。一般前売券は10月10日（月曜日・祝日）から販売します。

はるか遠くの星々を観測できる望遠鏡（telescope）、微生物や細胞を観察できる顕微鏡（microscope）。人間はさまざまなレンズを用いた器具を使うことで、自らが認識できる世界を拡張し、新たな技術や価値観を生み出してきました。

本展では、「デザイン」というレンズを通した視点を「デザインスコープ（design-scope）」と名付け、現在第一線で活躍するデザイナーやアーティストと対話を重ね、これからデザインがどのような提案をすることが可能なのか、またデザインとアートが限りなく近づく現在の状況を、ミクロ／マクロの視点から俯瞰します。そして、本展のために新たに制作された作品や、音や映像などを用いた、空間全体

を楽しむことができる展示を通して、デザインとアートの持つ創造的なエネルギーを体感し、楽しさや驚き、次世代に向けた可能性を、ここ富山の地から発信します。

開催概要

展覧会名

富山県美術館開館5周年記念 デザインスコープのぞく ふしぎ きづく ふしぎ

会期

2022 年 12 月 10 日（土曜日）～2023 年 3 月 5 日（日曜日）

開館時間

9 時 30 分～18 時 00 分（入館は 17 時 30 分まで）

休館日

毎週水曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、1 月 10 日（火曜日）

会場

富山県美術館 2 階 展示室 2、3、4

主催

富山県美術館、北日本新聞社、北日本放送

観覧料

前売り一般：850 円 一般：1,100（850）円、大学生：550（420）円、高校生以下無料

（※）（ ）内は 20 名以上の団体料金

（※）一般前売券の販売は、12 月 9 日（金曜日）まで

前売券販売所

富山県美術館、富山県水墨美術館、アーツナビ

見どころ

本デザイン展は作品をただ鑑賞するだけでなく、ご来館いただく皆様一人一人が「気づく」、「感じる」、「発見する」参加型の展覧会です。

20 世紀に躍進したプロダクトデザインや建築デザインの多くは、大量生産を前提に発展しました。そしてモノづくりに従事した人々の英知が完成度の高いデザインへと導きました。しかし、21 世紀は環境資源やエネルギー問題が喫緊の課題となり、デジタル社会による変革、そして私達一人一人の健康と生活に関心が移行してきました。

その変化の中で本展は、世代を越えて誰にでも楽しんでいただけるよう、時に驚き、時に瞑想し、時に感心し、一緒になって体感していただくことを意図しています。それは現在がデザインの長い航海の船出だからです。

本展では、8 組 10 人の作品を展示します。

アートとデザインの現在地を「のぞく」展覧会

- ・ 東京ミッドタウンや金沢 21 世紀美術館で展示されてきた、鈴木康広による全長 25m の巨大で透明な人物像《空気の人》
- ・ NHK・E テレ「デザイン あ」での『解散！』コーナーの企画製作を手掛ける岡崎智弘による、コマ撮りでマッチ棒が自由自在に姿を変える作品

- ・ 万華鏡から着想し、現代の LED 照明や光学技術を取り入れて進化させた we + の作品。
- ・ 「WHO ARE WE 観察と発見の生物学 国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol.01 哺乳類」の展示デザイン・構成でも知られる 三澤遙 による、紙が意志を持ったかのように動きまわる「動紙」シリーズの最新作

など、第一線で活躍するデザイナーやアーティストらが、自らの分野のこれからの姿を模索した作品を通して、限りなく近づくアートとデザインの現在地が見えてきます。

私たちの生きる世界にミクロの視点／マクロの視点から「きづく」展覧会

- ・ 金属の錆を、ジーンズの生地独特の模様として転写し、自然の変化の魅力をテキストスタイルに取り入れて意表をつく 狩野佑真
- ・ ネット上にあふれる膨大なデジタル画像を切り抜き、展示室いっぱいに浮遊させて、不可視のデジタル環境に取り巻かれた現代世界を優れて体感的に想起させる 林勇氣 のスペクタクルな映像インスタレーション
- ・ 展示室を鮮やかな色のパーツで満たし、空間感覚を色彩によって拡張する SPREAD
- ・ ベンチの上に投影された青い光の帯一静かに揺らめく、幻想的な光の知覚体験が、私たちの記憶や感覚を呼び覚ます、志村信裕 の映像インスタレーション

など、デザイナーの視点、アーティストの視点から見た多様な世界の姿は、我々に新鮮な驚きを与えてくれることでしょう。

関連ファイル

展覧会チラシ (PDF : 8,919KB) (別ウィンドウで開きます)

出品作家について

鈴木 康広 (すずき やすひろ)

アーティスト。1979 年生まれ。日常の見慣れた事象に新鮮な切り口を与える作品によって、世界の見方を問いかける活動を続けている。

代表作に瀬戸内国際芸術祭 2010 で話題を呼んだ《ファスナーの船》をはじめ、《空気の人》、《まばたきの葉》がある。

2014 年に水戸芸術館、2017 年に箱根彫刻の森美術館、2021 年にはイスラエルのティコティン日本美術館にて個展を開催。

第 1 回ロンドン・デザイン・ビエンナーレ 2016 日本代表。

岡崎智弘 (おかざき ともひろ)

グラフィックデザイナー／デザイナー。1981 年生まれ。2011 年デザインスタジオ SWIMMING を設立。

グラフィックデザインの思考を基軸に、印刷物／映像／展覧会など視覚伝達を中心とした領域を繋ぎながら、

文化と経済の両輪でデザインの仕事に取り組んでいる。デザインの仕事は、自分が知らない世界や事象と向き合う機会となることや、人や社会と繋がる行為となること、また世界の捉え方や構造を発見し組み立てることができる可能性に大きな魅力を感じている。

we + (ウィープラス)

リサーチと実験に立脚した手法で、新たな視点と価値をかたちにするコンテンポラリーデザインスタジオ。

林登志也（1980 年生まれ）と安藤北斗（1982 年生まれ）により 2013 年に設立。

自然と人工の融合を模索する「Nature Study」や、都市の廃材を土着の素材と見立てる「Urban Origin」をはじめとした自主プロジェクトを国内外で発表。

そこから得られた知見を生かし、リサーチ・アンド・ディベロップメントやインスタレーション等さまざまな企業や組織のプロジェクトを手がける。

三澤 遥（みさわ はるか）

デザイナー。日本デザインセンター三澤デザイン研究室室長。

武蔵野美術大学卒業後、デザインオフィス nendo を経て、2009 年より日本デザインセンター原デザイン研究所に所属。

2014 年より三澤デザイン研究室として活動開始。ものごとの奥に潜む原理を観察し、そこから引き出した未知の可能性を視覚化する試みを、実験的なアプローチによって続けている。著書に『waterscape』（出版：X-Knowledge）。

狩野佑真（かのう ゆうま）

デザインディレクター／デザイナー。1988 年生まれ。

東京造形大学デザイン学科室内建築専攻卒業。2012 年にデザイン事務所 STUDIO YUMAKANO を設立。

ネジ 1 本から、プロダクト、インテリア、マテリアルリサーチまで、実験的なアプローチとプロトタイピングを重視したプロセスを組み合わせ、様々な物事をデザインの対象として活動している。

近年はミラノやパリをはじめとする欧州や日本国内の様々な場所で精力的に作品を発表している。

林 勇気（はやし ゆうき）

映像作家。1976 年生まれ。膨大な量の写真をコンピューターに取り込み、切り抜き重ね合わせることでアニメーションを制作。

自ら撮影した写真のほか、人々から提供された写真やインタビューを素材とした制作により、デジタル・メディアやインターネットを介して行われる現代的なコミュニケーションや記憶のあり方を問い直す。

近年は他領域とのコラボレーションや、ワークショップを通しての作品制作も多数試み、映像が内包する拡張性や協働的な側面について模索している。

SPREAD (スプレッド)

山田春奈（1976 年生まれ）と小林弘和（1976 年生まれ）によるクリエイティブ・ユニット。

長い時間軸で環境を捉えるランドスケープデザインの思考と鮮烈な印象を視覚に伝えるグラフィックデザインの手法を融合。環境・生物・物・時間・歴史・色・文字、あらゆる記憶を取り入れ“SPREAD = 広げる”クリエイティブを行う。

主な仕事に「国立新美術館開館 10 周年」記念ビジュアル、工場見学イベント「燕三条工場の祭典」など。

志村信裕（しむら のぶひろ）

アーティスト。1982 年生まれ。2007 年武蔵野美術大学大学院映像コース修了。

2016 年から 2018 年まで文化庁新進芸術家海外研修員としてパリに滞在。

身近な日用品や風景を題材にした映像インスタレーション作品を美術館や芸術祭で発表する。近年では各地でのフィールドワークを元に、ドキュメンタリーの手法を取り入れた映像作品を制作。ローカルな視点から、可視化され難い社会問題や歴史に焦点をあてるプロジェクトを手がける。

会期中のイベントについて

会期中、様々なトークイベントを開催します。

詳細は、決まり次第当館 WEB サイトにてお知らせいたします。

- ・ 会場：富山県美術館 3 階ホール
- ・ 時間：各日 14 時 00 分～15 時 30 分
- ・ 入場無料

12 月 10 日（土曜日）

鈴木康広×川上典李子（富山県美術館デザインディレクター）

12 月 17 日（土曜日）

狩野佑真×宮前義之（A-POC ABLE ISSEY MIYAKE デザイナー）

12 月 24 日（土曜日）

we +（林登志也、安藤北斗）×志村信裕

12 月 25 日（日曜日）

林 勇気×以倉 新（富山県美術館学芸課主幹）（※）ギャラリートーク

1 月 14 日（土曜日）

永井裕明（グラフィックデザイナー、富山県美術館ポスターデザイン※2022 年度～）×川上典李子

2 月 11 日（土曜日）

三澤 遥×武井祥平（nomena 代表取締役、エンジニア）

2月18日（土曜日）

岡崎智弘×SPREAD（山田春奈、小林弘和）

3月4日（土曜日）

桐山登士樹（富山県美術館副館長）×ゲスト（未定）

[同時期開催]

林 勇気「もうひとつの世界の見方 002・ワークショップと展示」

- ・ 館内無料ゾーン展示：2022年12月10日（土曜日）～2023年3月5日（日曜日）
- ・ 3階ホール展示：2022年12月25日（日曜日）～2023年1月9日（月祝）（12月28日～1月4日は休館）、及び1月14日（土曜日）～29日（日曜日）の土日祝日開催
- ・ 観覧料：無料

イベント開催等により臨時閉室する場合があります。詳細は富山県美術館 web サイト、SNS 等でご確認ください。

ワークショップ

10月29日（土曜日）14時00分～15時00分

定員10名／参加無料／要申込・抽選

詳しくは富山県美術館ホームページをご確認ください。

お客様へのお願い

ご来館の皆様には、マスクの着用／適切な距離の確保／咳エチケット／風邪症状がある場合のご来館自粛など、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力いただけますようお願い申し上げます。

土曜日、日曜日、祝日の混雑時には、入場制限を行う場合がございます。

ご取材・掲載用写真について

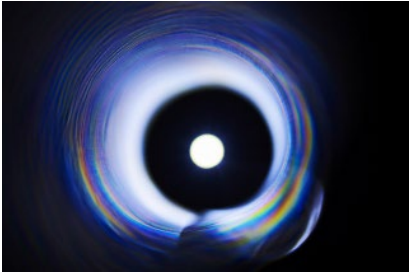
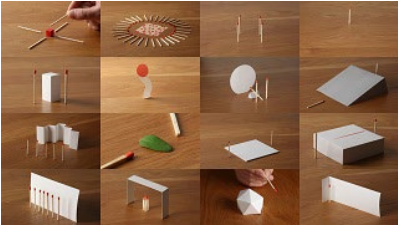
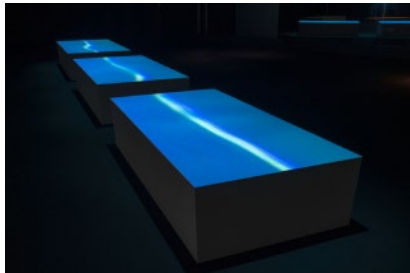
広報用画像および取材申請については、下記申込書にご記入の上、ご送付をお願いいたします。

広報用画像提供・取材申請書（PDF：1,060KB）（別ウィンドウで開きます）

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US



「デザインスコープ—のぞく ふしぎ きづく ふしぎ」展 広報用画像一覧

画像①	画像②	画像③
		
画像④	画像⑤	画像⑥
		
画像⑦	画像⑧	画像⑨
		

お問い合わせ

富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20

tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712

メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

担当 : 広報に関して : 川浦 展覧会に関して : 内藤、以倉

「デザインスコープ—のぞく ふしぎ きづく ふしぎ」展 広報用画像申込書
FAX 076-431-2712 /E-mail: abijutsukan@pref.toyama.lg.jp

■別紙記載の注意事項をお読みいただき、以下の必要事項をご記入の上、お送りください。

申込日			
貴媒体名			
(WEB の場合の URL)			
貴社名／部署			
ご担当者氏名			E-mail:
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL:	FAX:	
掲載／放送予定日	年 月 日	掲載号発売日:	年 月 日
記載企画内容	※ご取材希望の場合はこちらに内容、希望日をお書きください。		

※ご記入いただいた個人情報は、広報用写真貸出しの目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

■掲載ご希望の画像(□にチェックを入れてください)

広報用画像一覧・掲載時のキャプション			
☐	①we+《Peep》2017 年 photo:林 雅之	☐	②岡崎智弘《Matches Wall》2022 年
☐	③狩野佑真《Rust Harvest》2018 年 photo: Gottingham	☐	④志村信裕《Blue Hour》2021 年 KAAT 神奈川芸術劇場での展示風景 photo:Ken Kato
☐	⑤鈴木 康広《空気の人》東京ミッドタウン芝生広場、2018 年 photo: 鈴木康広	☐	⑥SPREAD《Much peace, Love and Joy》2021 年 photo:新宮巨樹
☐	⑦林 勇氣《another world -alternative》2017 年 静岡市美術館での展示風景 photo:木奥恵三	☐	⑧三澤 遥《動紙》2018 年 photo:林 雅之
☐	⑨「富山県美術館開館 5 周年記念 デザインスコープ—のぞく ふしぎ きづく ふしぎ」ポスター		

※その他、美術館外観等の写真が必要な場合は、下記空欄にご記載ください。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当 : 広報に関して : 川浦 展覧会に関して : 内藤、以倉



富山県美術館
アート & デザイン

富山県美術館 広報用使用画像について

- ◎ 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）・WEB 等、富山県美術館および展覧会の広報を目的とした報道に限らせていただきます。展覧会の広報にあたっては、展覧会名、会期、会場を必ずご掲載ください。
- ◎ 画像は「広報用画像申込書」に掲載または放送内容を具体的に記載の上、ご申請ください。富山県美術館より画像データをお送りいたします。**提供した画像データは、使用后すみやかに破棄してください。**
- ◎ 画像使用の際は、「広報用画像申込書」をご参照の上、所定のキャプションとクレジットを表記してください。
- ◎ **画像はトリミング（切り取り）はせず、全図で使用してください。作品が切れたり、キャプション等の文字や他の画像を重ねてのご使用はできません。**
- ◎ WEB にてご掲載の場合には、コピーガード（※右クリック不可）を施す、画像サイズを落とすなど、2 次使用防止への可能な限りのご対応をお願いします。
- ◎ ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横ロゴマーク・ロゴタイプに他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除したりすることはしないでください。
- ◎ 申請をいただいた媒体以外の企画（例：出版物表紙、広告素材使用は不可）での二次使用はできません。**再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。**
- ◎ 基本情報と画像使用の確認のため、校正をメールで富山県美術館広報担当までお送りくださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載および放映いただいた場合、お手数ですが掲載紙・誌、URL、番組収録の DVD、CDなどを富山県美術館へのご提供をお願いいたします。

お問い合わせ 富山県美術館 〒930 - 0806 富山県富山市木場町 3 - 20
tel : 076-431-2711 fax : 076-431-2712
メール : abijutsukan@pref.toyama.lg.jp
担当 : 広報に関して：川浦 展覧会に関して：内藤、以倉

